

重要取組シート

取組項目		働きやすく「働きがい」のある学校の実現
現状・課題		<p>○教員の勤務時間外在校等時間は各種取組によって、1 か月当たりの勤務時間外在校等時間は減少傾向にあるものの、月別に見ると業務が集中して長時間勤務となる時期が存在する。中学校の勤務時間外在校等時間が依然として多いこと、また、文部科学省が早急に解消すべきと示す勤務時間外在校等時間 80 時間を超過している教員が全教員の約 1 割に上がることが課題である。</p> <p>○教員が心身ともに健康な状態で、仕事と生活の両方を充実させながらウェルビーイングを確保して働くことは、教職員自身の創造性を高め、教育活動の質の向上にもつながり、最終的には、子どもたちのより良い学びと成長を支える基盤の構築にもつながる。</p> <p>○子どもたちのウェルビーイングの向上には、子どもと関わる教職員自身のウェルビーイングの確保が欠かせない。教職員が笑顔で子どもたちと向き合い、子どもたちの成長を実感できるようにするためにも、教員が「働きがい」を感じながら教育本来の業務に専念できるように環境を整備し、すべての教職員が心身ともに健康な状態で、安心して働くことができる「働きやすい」職場にすることが不可欠である。</p>
取組の内容		<p>○働き方改革推進会議において学校園との連携を強化し、「ウェルビーイング向上のための取組指針Ⅱ」の重点取組を中心に推進する。</p> <p>○「ウェルビーイング向上のための取組指針Ⅱ」では、「教職員のいのちと健康を守り、すべての子どもたちへのより良い教育の実現」を目的に、3 つの視点「何のため」の働き方改革が常に原点・目的に立ち返る、「例年どおり」ではなく 常に最適化する、「教員以外との連携・協働を積極的に検討する」を持ち、重点取組を「授業・授業準備」、「生徒指導・保護者対応等」、「学校（園）運営」、「部活動」、「働きやすい環境の整備」の 5 つのカテゴリーに分け、今後 5 年間で進める。</p>
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 「ウェルビーイング向上のための取組指針」の検証（～6月） <input type="checkbox"/> 働き方改革推進会議（第1回）（7月） <input type="checkbox"/> 重点取組の進捗確認（8月）
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 働き方改革推進会議（第2回）（10月） <input type="checkbox"/> 教職員対象 働き方改革に関するアンケート実施（12月） <input type="checkbox"/> 重点取組の進捗確認（1月） <input type="checkbox"/> 働き方改革推進会議（第3回）（2月） <input type="checkbox"/> 取組指針指標到達度確認（3月）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 令和 10 年度に見直し期間を設け、必要に応じて取組指針の内容を更新する。

進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
堺市基本計画 2030	該当する 施策	3- (4) 安心して学べる教育環境の充実	
	寄与する KPI	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）と答えた児童生徒の割合 現状値（2025年度） 小6 74.8% 中3 79.6%	目標値（2030年度） 小6 80.0% 中3 85.0%
堺市SDGs 未来都市計画	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに
	寄与する KPI	—	
			目標値（2030年度） —